

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和6年12月6日（金）

### 2 確認箇所

伐採木一時保管エリアV（図1）

### 3 確認項目

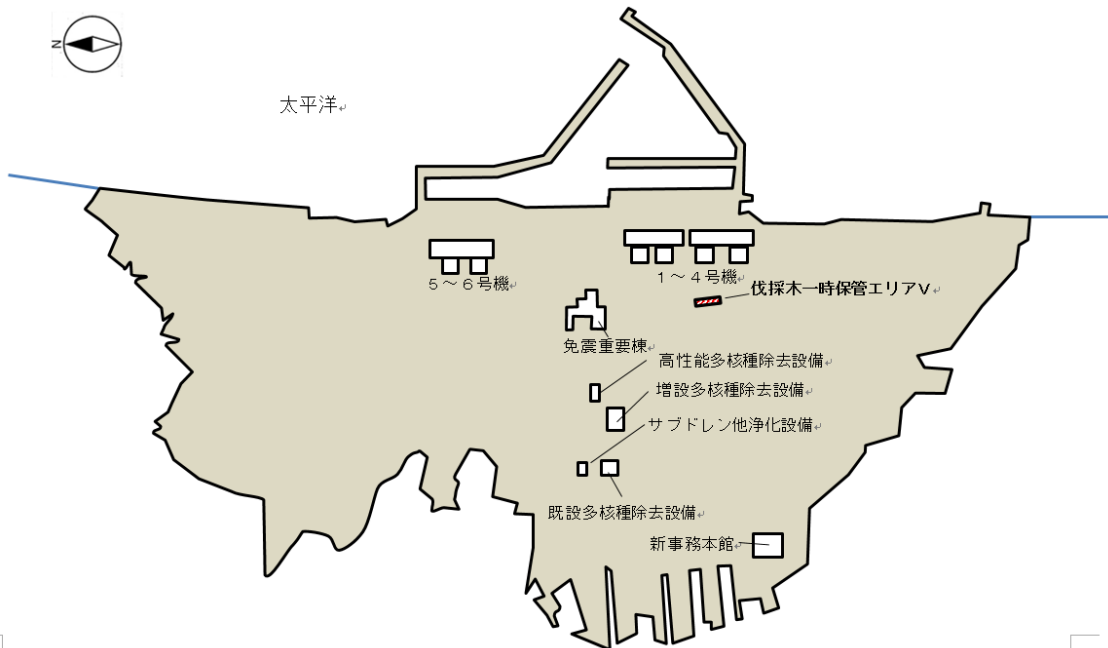
伐採木一時保管エリアVの保管状況

### 4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所では、震災後に敷地造成等により発生した伐採木を敷地内5カ所の屋外一時保管エリア等に保管している。

本日は、このうち伐採木一時保管エリアVにおける保管状況について確認を行った。（前回確認：令和6年4月3日）

- ・エリア内には伐採木が概ね南北20m、東西10m、高さ4mの範囲で集積保管されており、「特定原子力施設に係る実施計画」において東京電力が定めている積載高さ（5m未満）を下回っていた。（写真1）
- ・保管された伐採木内部の温度を把握するため、温度計が2箇所設置されていた。（写真2）
- ・保管場所の近傍には消火用タンク及び消火器が設置され、火災対策が講じられていた。（写真3）
- ・伐採木の周囲は単管パイプで区画されており、みだりに人が立ち入れない措置が講じられていた。（写真4）
- ・区画外への伐採木の飛散は確認されなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
伐採木一時保管エリアVの外観  
(南側から撮影)



(写真1-2)  
保管された伐採木の状況



(写真 2 - 1)  
伐採木内部の温度を把握するための  
温度計の設置状況①



(写真 2 - 2)  
伐採木内部の温度を把握するための  
温度計の設置状況②



(写真 3 - 1)  
消火用タンクの設置状況



(写真 3 - 2)  
消火器の設置状況



(写真 4)  
単管パイプによる区画の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。